



# はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

## 横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療を受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



### 第75号 目次

【病院機能評価】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

【高度専門機能（救急医療・災害時の医療）】

血管撮影装置更新のお知らせ・・・・・・・・・・・・・2

行事紹介

第57回生卒業式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

特集 - 医師が語る疾患 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

第30回 食物アレルギーについて

連載・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

第29回 言語聴覚士

「日常で行える口腔機能維持のためのリハビリ」

病診連携施設紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

堀口クリニック

外来担当医表／編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

発行 月：令和4年4月  
発行 行：独立行政法人国立病院機構  
横浜医療センター 広報委員会  
発行責任者：鈴木 宏昌  
住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2  
電 話：045-851-2621  
FAX : 045-851-3902  
URL : <https://yokohama.hosp.go.jp/>



●当院携帯サイトはこちらから

## 【病院機能評価】

当院では令和3年9月6日～7日に病院機能評価の一般病院2（3rdG:Ver.2.0）で受審し、一定の水準を満たしていると認められ令和4年2月4日付で認定証が交付されました。

平成18年に初回認定を受けて以降、5年毎に受審を受けており今回で4回目の更新となります。病院機能評価とは第三者機関が（財団法人日本医療機能評価機構）多くの評価項目について審査をします。地域の皆様には、当院が質の高い医療を提供する病院として認定されたことをお知らせするとともに今後も質の高い診療の維持に努めてまいります。



## 【高度専門機能（救急医療・災害時の医療）】

病院機能評価が2日間行われた3日目の令和3年9月8日に高度・専門機能（救急医療・災害時の医療）バージョン1.0も併せて受審しこちらについても一定の水準を満たしていると認められ令和4年2月4日付で認定証が交付されました。

高度専門機能（救急医療・災害時の医療）については令和4年2月4日現在で全国で7施設、神奈川県内では初の認定施設となっております。昨今の救急医療・災害時の医療を取り巻く、「地域連携の重要性の高まり」、「災害時の医療の在り方」等の病院に求められる役割は大きく変化してきております。それらを踏まえた、「地域の救急医療を支える効果的な仕組み」、「救急患者への適切な対応」、「救急部門の質改善に向けた取り組み」、「災害時の適切な対応のための体制」の4つの領域を中心に審査を受けました。今後は、職員一丸となり目標を目指すことができ、認定はゴールではなくスタート。より良い医療の実現のために今後も継続的な改善活動に取り組むと思います。



# 血管撮影装置更新のお知らせ

2021年11月1日より、最新の血管撮影装置、フィリップス社製Azurion7B12が稼働しました。本装置では、主に、狭心症や心筋梗塞などの冠動脈疾患の検査、治療を行います。

検査では心臓の血管までカテーテルを挿入し、そこから造影剤を注入することにより、心臓血管の狭窄を探します。また、治療では細くなった心臓血管にステント（金属の網状）を留置することにより、細くなった血管を広げます。

また、本装置では、不整脈に対するカテーテルアブレーション治療も行います。カテーテルアブレーションは、電極カテーテルという先端に金属のついたカテーテルを用いて、心筋を選択的に熱焼灼することで頻脈、不整脈の原因となる異常な興奮を発する部位や異常な興奮が旋回する回路・伝導路を治療する方法のことを言います。

治療内容によっては、透視時間が長くなったり、撮影回数が多くなり、被ばく線量の増加が懸念されますが、本装置は従来の装置より、より少ないX線量で、且つ、高画質な画像を描出することが出来ます。これにより、患者さんや術者の被ばく低減と検査時間の短縮が可能となりました。被ばく線量についても、線量管理ソフトにてすべての患者さんの線量を、記録管理しております。



院内設置時の様子

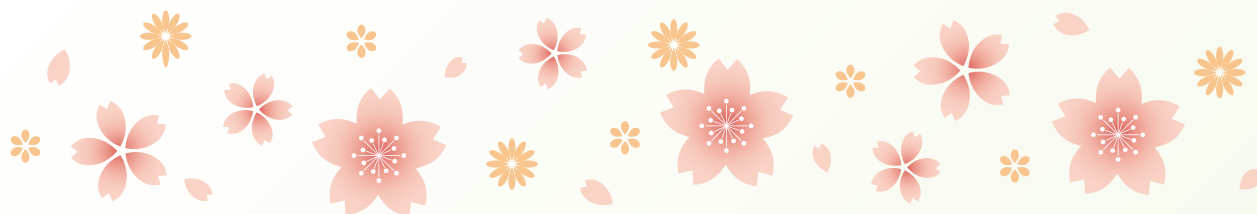


# 行事紹介

## 第57回卒業式

令和4年3月4日（金）3年ぶりに保護者にもご参列いただき第57回卒業式を挙行了しました。

この2年間、新型コロナウイルス感染対策で授業や実習、学園祭などの課題行事等、様々な制限や困難はありましたが、例年通りのカリキュラムを終えこの日を迎えることができました。学生は、困難を乗り越えた達成感から頼もしさと晴れやかな表情をしていました。今後も学校職員で見守っていきます。



# 特集－医師が語る疾患－

## 第30回 食物アレルギーについて

小児科部長 只木 弘美

食物アレルギーのわが国の有病率は、乳児期で5～10%、学童期で4.6%と報告されており、年々増加傾向を示しています。小児では給食の管理が求められるため、医師のみならず、看護師、栄養士、学校や幼稚園、保育園の先生、養護教諭などと連携しながら、食事のすすめ方、緊急時の対応について治療方針を決定していきます。

食物アレルギーの新規発症の原因食物を年齢別にみると、0歳は鶏卵、牛乳、小麦の順に多く、1歳は鶏卵、魚卵、牛乳、2、3歳は魚卵、鶏卵、ピーナッツ、4～6歳では果物、鶏卵、ピーナッツ、7～19歳では甲殻類、果物、鶏卵、20歳以上では小麦、魚類、甲殻類の順に多くなっています。症状としては、蕁麻疹、かゆみなどの皮膚症状が一番多く、咳、ゼーゼーするなどの呼吸器症状、嘔吐や腹痛などの消化器症状がみられますが、重症化すると、呼吸困難や意識障害などの症状を来し、血圧が低下するなどのアナフィラキシーショックを呈することもあります。アナフィラキシーの既往がある患者さん（体重15kg以上）には、緊急用のエピネフリンの自己注射薬（エピペン）を処方することが可能です。

診断には詳細な病歴聴取が重要となります。病院受診時には、具体的に何をどれくらいの量を食べ、摂取後どれくらいの時間経過でどのような症状が出現したのかを伝えて頂くことが重要です。その上で確定診断のために、血液検査で血中抗原特異的IgE抗体（アレルギーの原因となる食物に対する免疫物質）を測定します。病歴や血液検査で診断が不確定の場合には、食物経口負荷試験（アレルギーが疑われる食物を食べて、症状が出現するかを観察する検査）を日帰り入院で行います。当院でも年間100件程度の食物経口負荷試験を行っています。



治療としては、基本的には最小限の除去を目指した食事療法を行いつつ、食物経口負荷試験で除去の解除を考慮していきます。多くの患者さんが自然寛解しますが、小学生以降になっても寛解しない患者さんには、経口免疫療法（食べて慣らす治療）という治療法があります。経口免疫療法とは、症状が出ない範囲で食物アレルゲンを積極的に食べて、定期的に少量ずつ増量していき、最終的には食べられるようにするという治療法です。増量のスピードによって急速法と緩徐法の2つに分けられますが、急速法はアナフィラキシーのリスクが高いため、近年では緩徐法が主流となってきました。ただし、予期せずアナフィラキシーを引き起こす危険性を秘めた治療であり、倫理委員会での承認を受けた専門性の高い施設のみで実施されている治療法です。当院でも緩徐法による経口免疫療法を実施しています。

発症予防に関しては、食物アレルギーの発症と皮膚感作の関連性に関して、近年多数の研究結果が発表されております。ポイントは「皮膚をきれいにし、少しずつ食べること」です。湿疹がよくない状態というのは、皮膚のバリア機能が低下しており、そこに食物アレルゲンが付着して感作されると言われています。湿疹がある場合にはスキンケアでしっかり治してから、除去し過ぎないように少量ずつ食物を摂取することが発症予防につながると考えられています。当科では小児アレルギーエデュケーターの資格を持った専門の看護師も在籍しており、外来でスキンケアの指導や離乳食の相談も受けることが可能です。湿疹で悩まれている離乳食開始前の患者さん



は、ぜひご相談いただけたらと思います。毎週、水、木、金曜日の午前中にアレルギー専門の医師が外来を担当しておりますので、ご紹介をお待ちしています。

第29回 言語聴覚士「日常で行える口腔機能維持のためのリハビリ」

リハビリテーション科 言語聴覚士 松平 堇

言語聴覚士（ST）は、「聞く・読む・話す・書く」といったコミュニケーションや、摂食嚥下機能障害を持った方に対してリハビリテーションを行っています。当院では主に、失語症・高次脳機能障害・構音障害・摂食嚥下障害をお持ちの方に対して、検査、評価、訓練、助言指導といった介入を行っています。

今回は、「日常で行える口腔機能維持のためのリハビリ」についてご紹介したいと思います。口腔機能の低下は「オーラルフレイル」とも呼ばれており、疾患による影響の他、加齢や体力低下によってもみられることがあります。症状としては、「活舌が悪い・口の中が乾燥する・食べ物が噛みにくい・飲みこみにくい・むせるようになった」等があります。これらの影響により、食べ物が上手く飲み込めず、誤嚥(食物が誤って気管に入ってしまう)による誤嚥性肺炎や、低栄養のリスクも増しやすくなります。

口腔機能維持に向けた口腔のリハビリの一つとして、「口腔体操」があります。食事前のストレッチとして1日3回、各10回程度でぜひ実施してみてください。



①口を大きく開く→閉じる



②頬を大きく膨らます→へこませ



③舌で左右の口角に触れる



④舌を唇の上につける→唇の下まで出す



ぱ・ぱ・ぱ

⑤ぱ・た・か・らを  
ゆっくり連続で言う

コロナ禍では、患者・スタッフともに安全にリハビリテーションが行えるよう標準予防策を徹底しており、今後も感染対策に努めていきます。

# 病診連携施設紹介

## 堀口クリニック

診療科：内科、呼吸器内科、外科、アレルギー科

院長：堀口 速史（ほりぐち はやのり）

2011年4月に戸塚駅東口で開院いたしました。今春で11年を迎えます。

中学・高校は横浜市青葉区(当時は緑区)の桐蔭学園で学びました。医学部卒業後は呼吸器外科医として勤務し主に肺癌の診療、気管支内視鏡の検査・治療、胸部レントゲンやCT画像の診断などに従事しておりました。

趣味はランニングで中学から大学まで陸上競技部に所属しておりました。現在も細々と走っており日本全国のマラソン大会でランニングドクター®として活動をしています。(コース上を一般ランナーとともに走行し心肺停止症例などに対応する医療支援活動のボランティアです)

「患者様と真剣に向き合い、患者様の訴えをよく聴くこと」を信念に地域に密着した診療を心掛けております。生活習慣病をはじめとした一般内科疾患、かぜや喘息、長引く止まらない咳、COPDといった呼吸器疾患、打撲、切り傷、やけど、腫れなどの外科処置も扱っています。専門外来として漢方外来、せき外来、いびき外来、禁煙外来を設けております。またスポーツドクターの資格を生かしアスリート外来としてスポーツ内科の治療(アスリート喘息、アスリート貧血など)も行っております。

横浜医療センターの先生方には常日頃から大変お世話になっており感謝の念に堪えません。患者様のことで困った際にはご多忙のなかいつも快く引き受けてくださり大変心強く思っております。これからも横浜医療センターの先生方と密に連携を取りまして地域の患者様に一番身近な「かかりつけ医」としての役割を担ってまいりたいと思っております。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



堀口院長



## 堀口クリニック

〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町498-11 第5吉本ビル1階  
TEL : 045-869-6464

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:30 (初診は12:00まで)	◎	◎	◎	—	◎	◎	—
15:00~18:00 (初診は17:30まで)	◎	◎	◎	—	◎	—	—

【休診日】 木曜・日曜・祝日

ホームページ：<https://horiguchi-cl.com>



診療科		月	火	水	木	金
外来受付 A	小児科	原 良紀	鉢崎 竜範	只木 弘美	鉢崎 竜範	塩谷 裕美
		高橋 英里佳	福山 綾子	涌井 直人	小林 孝輔	高橋 篤史
		谷川 誠一	野原 千広	松沼 まり	竹部 麻美子	松澤 崇
	心臓血管外科	佐藤 大樹	休診日(手術日)	盆子原 幸宏	休診日(手術日)	久米 悠太
	形成外科	和唐 純平	村下 一晃	休診日(手術日)	村下 一晃	村下 一晃
			和唐 純平			和唐 純平
整形外科	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	佐藤 雅経	
	堀 莉彩	佐藤 雅経	小澤 祐樹	伊藤 りえ	伊藤 りえ	
	倉澤 美帆	小澤 祐樹	大山 格	堀 莉彩	倉澤 美帆	
	大山 格	日野 勝利				
外来受付 B	総合内科	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師
	糖尿病内分泌内科	高橋麻侑子	王城 人志	田島 一樹	王城 人志	王城 人志
		田島 一樹 (FAX・ネット予約)		宇治原 誠		
	脳神経内科	小島 麻里	竹井 暖	上木 英人	休診日	渡邊 裕樹
	腎臓内科	松下 啓	毛利 史将	松下 啓	牧内 睦美	休診日
	呼吸器内科	釣木澤 尚実	長田 怜永子	間邊 早紀	本林 優人	増本 菜美
		鈴木 雅人 (第1・3・5曜日)	上地 大樹 (第1・3・5曜日)	池田 佳彦 (第1・3・5曜日)	小川 祐二 (第1・3・5曜日)	竹岡 祐毅 (第1・3・5曜日)
	消化器内科	野中 敬 (第2・4曜日)	松島 昭三 (第2・4曜日)	小田 貴之 (第2・4曜日)	海老澤 佑 (第2・4曜日)	山田 英司 (第2・4曜日)
		森 文章	森 文章	塚本 圭 (第1・3・5曜日)	齋藤 貴士	森 文章
	膠原病・リウマチ内科	井畑 淳	関口 章子	井畑 淳	井畑 淳	井畑 淳
		柿添 学	藤井 義郎	木村 準	藤井 義郎	休診日 (手術日)
	外科・消化器外科	山本 悠史	後藤 晃紀	松田 悟郎	清水 哲也	
		川崎 千瑛		矢澤 慶一	松田 悟郎・柿添学	
	呼吸器外科	休診日 (手術日)	大森 隆広	休診日 (手術日)	渡部 克也	渡部 克也 (第1・3・5曜日)
休診日 (手術日)		岡田 富 (第1・3・5曜日)	瓜生 康浩 (第1・3・5曜日)	休診日 (手術日)	大森 隆広 (第2・4曜日)	
脳神経外科		宮原 宏輔 (第2・4曜日)	鈴木 幸二 (第2・4曜日)		宮原 宏輔 (第1・3・5曜日)	
					谷野 慎 (第2・4曜日)	
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	小池 遥介	佐々木 祐幸	小池 遥介	交代医師
	眼科	木村 正彦	平野 幸世	岡部 智子	木村 正彦	鈴木 亮太
		藤田 智子	岡部 智子	鈴木 亮太	平野 幸世	藤田 智子
	泌尿器科	今野 真思	平井 耕太郎	休診日 (手術日)	平井 耕太郎	今野 真思
		浅岡 美保	藤岡 あずみ		高梨 将人	浅岡 美保
皮膚科	高野 哲郎	高野 哲郎	休診日 (手術日)	高野 哲郎	高野 哲郎	
	飼沼 実優	飼沼 実優		飼沼 実優	飼沼 実優	
外来受付 D	精神科	休診日	休診日	交代医師	交代医師	交代医師
	産婦人科	向田 一憲	奥田 美加	下向 麻由	乗杉 輝彦	最上 多恵
		萩原 真由美/鈴木 沙也香	高山 智子	小林 奈津子/田之井 有華	交代医師	斎藤 尚子
	産科	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)
			根岸 明秀		根岸 明秀	
歯科口腔外科		高瀬 さやか		高瀬 さやか		
専門外来 (予約制)	膠原病・リウマチ内科			関節超音波		
	脳神経外科			脳神経血管内治療外来 野田 尚志(第1・3・5曜日) 関口 徳朗(第2・4 曜日)		脳神経血管内治療外来 田中 悠介
	放射線科	杉山 正人	杉山 正人	杉山 正人	幡多 政治	杉山 正人
	精神科	物忘れ外来				物忘れ外来

初診受付：(平日) 8:30～10:30

休診日：土曜日・日曜日・祝日、12月29日～1月3日

※急患は随時受け付けております。来院前に病院にご連絡下さい。(代表)045-851-2621

※ 青色の枠の担当医 は、完全予約制、黄色の枠の担当医 は前月からの変更箇所となります。

◆編集後記◆

2月1日以降、毎日の最高気温の合計が600℃に達すると桜が開花するという法則(?)が存在するらしい。東京や横浜では2月中は平年より気温の低い日が続いたが、3月中旬以降、夏日に近い最高気温を記録する日もあり一気に開花が早まった感がある。近年、本誌発行日の4月1日には満開が過ぎてしまう傾向にあるが、人生の門出に立つ人に桜吹雪が舞い散る情景には格別な思いがある。日本に生まれ育ったことに感謝する瞬間の一つだ。桜吹雪舞う中、多くの若者が開けるドアの先にはどんなワクワクが待ち受けていることだろう。

(Y・K)